

平成 25 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 前田 泰宏

最終学歴	関西学院大学大学院文学研究科博士課程前期課程心理学専攻修了	
取得学位	文学修士	
所属学会	日本心理臨床学会、日本心理学会、日本ブリーフサイコセラピー学会、日本行動療法学会、日本認知療法学会、日本トラウマティックストレス学会、他	
専門分野	臨床心理学、心理療法(統合・折衷)	
研究課題	心理療法における学派を超えて共通に存在する治癒(効果)要因と治療プロセスの探索、不安・抑うつつの臨床心理学的研究	
授業科目	学部担当科目	・臨床心理学演習Ⅰ(前期)、・臨床心理学演習Ⅲ(前期)、・臨床心理学応用実習Ⅰ(前期)、・心理病理学(前期)、・臨床心理学演習Ⅱ(後期)、・臨床心理学演習Ⅳ(後期)、・臨床心理学応用実習Ⅱ(後期)、・臨床心理学概論(後期)、心理アセスメント実習(前期)、カウンセリング実習(後期)
	大学院修士課程担当科目(博士前期課程含)	・臨床心理実習(通年:共同)、・臨床心理学特論Ⅰ(前期)、・臨床心理学演習Ⅰ(通年)、・臨床心理学演習Ⅱ(通年)、・臨床心理面接特論Ⅱ(後期)、・臨床心理査定演習(通年:共同)、・投映法特論(前期)
	大学院博士後期課程担当科目	・ ・ ・ ・
	通信教育部担当科目	・臨床心理学(スクーリング科目) ・ ・ ・
【研究上の特記事項】	関西折衷的心理療法研究会(2011年4月設立)において共同研究者数名(臨床心理士)と共に、統合・折衷的心理療法に関する実践教育と研究を行っている。2013年度は「心理療法統合を考える会(東京)」と第2回目の合同研究会を開催した。また、関西マインドフルネスアプローチ研究会(2012年9月設立)においてマインドフルネスに関する定期的な勉強会を開催している。2013年度は勉強会を3回開催した。	
【教育上の特記事項】	担当講義科目においては、毎回授業アンケートを実施し、教員側の授業の振り返りと学生の授業内容の理解の状況について把握するための一助とした。大学院臨床心理学コース修了生に対する実践教育支援(臨床心理クリニックケースカンファレンス)を、臨床心理学コース教員及びクリニック相談員と共同で行った。	
【社会的活動】	ブリーフセラピー・ネットワークジャパン理事(1998年度～)、大学院連合メンタルヘルスセンター理事(2011年度～)、人間性探究研究所理事(2012年度～)、大阪府臨床心理士会医療関係部会運営委員(2005年度～)、奈良県スクールカウンセリングカウンセラー(2008年度～)、奈良いのちの電話相談員養成講座講師(2009年度～)、関西折衷的心理療法研究会世話人(2010年度～)、関西マインドフルネスアプローチ研究会主宰(2012年度～)、ソーシャルケアセンターアドバイザー(2011年度～)	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	社会学部長(2011-2012年度)、社会学研究科長(2006-2007年度、2011-2012年度)、臨床心理クリニック所長(2007-2010年度)、人事委員(2009-2010年度)、学生相談員(2004年度～)、臨床心理クリニック相談員(2007年度～)、地域連携教育研究センター運営委員(2007-2010年度)、他	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①統合・折衷的心理療法の実践-見立て・治療関係・介入と技法	共編著	2014年3月30日	金剛出版	統合・折衷的心理療法がどのような臨床実践であるのかについて、見立て・治療関係・介入と技法の3つの観点から整理して論じた実践書。4つの章を担当執筆した。
(学術論文)				
(学会発表)				
①自主シンポジウム:統合・折衷的心理療法の発展-いろいろな疾患・問題への適応-	共同	2013年8月25日	日本心理臨床学会第32回秋季大会	自主シンポジウムの企画と司会、趣旨説明を行った。
(研究会発表、講義・講演、公的発言、等)				
①マインドフルネス認知療法(MBCT)について	単	2013年6月23日	主催:関西マインドフルネスアプローチ研究会	第4回マインドフルネス勉強会において講義と実習を行った。
②奈良いのちの電話「第37期電話相談員養成講座」:講義「人間関係の課題(3)地域-臨床心理的コミュニティ援助論を中心として」	単	2013年7月6日	主催:奈良いのちの電話協会	臨床心理的地域(コミュニティ)援助の理論と実際について、コミュニティ心理学や、システムズアプローチの観点から講義した。
③電話相談員へのグループスーパーヴィジョン	単	2013年7月18日	主催:奈良県立教育研究所	教育研究所の電話相談員ケース会議においてスーパーヴァイザーとして指導を行った。
④ストレスマネジメント講座	単	2013年8月3日	主催:奈良大学臨床心理クリニック	地域住民を対象とした無料相談会の一プログラムとして、ストレスマネジメントに関する講義と実習を行った。
⑤10年経験者研修講座:学校カウンセリングの基本	単	2013年8月8日	主催:奈良県立教育研究所	小学校、中学校、高校の教員歴10年の教員に対して、講師として「学校カウンセリングの基本」に関する講義と実習を行った。
⑥マインドフルネス瞑想について	単	2013年10月6日	主催:関西マインドフルネスアプローチ研究会	第5回マインドフルネス勉強会において講義と実習を行った。
⑦話題提供:マインドフルネスは“疲労”に効くか?	単	2013年11月30日	主催:日本産業衛生学会産業疲労研究会	産業疲労研究会第79回定例研究会において、シンポジストとして参加した。
⑧基調講演:心理臨床実践の統合的・折衷的アプローチ-可能性を広げる心理援助のため	単	2013年12月13日	主催:NPO法人大学院連合メンタルヘルスセンター	第1回臨床心理ワークショップにおいて基調講演を行った。
⑨わが国におけるマインドフルネス臨床と研究の動向	単	2014年1月23日	主催:関西マインドフルネスアプローチ研究会	第5回マインドフルネス勉強会において講義と実習を行った。
⑩母親としてのストレスマネジメント	単	2014年1月23日	主催:田原本町立北小学校校内保健委員会	母親を対象としたストレスマネジメントの講義と実習を行った。
⑪話題提供:ORSの臨床使用経験-セラピストが治療外要因に心を配るために	単	2014年3月8日	主催:平成25年度甲南大学平成記念人文・社会科学奨励金対象研究報告シンポジウム	ORS(結果評価スケール)の心理療法実践における使用経験について、話題提供とディスカッションを行った。
⑫指定討論:統合・折衷的心理療法における介入の工夫	単	2014年3月23日	主催:関西折衷的心理療法研究会	第4回関西折衷的心理療法研究会のシンポジウムで指定討論を行った。今回は、「心理療法統合を考える会」との第2回目の合同研究会として開催した。